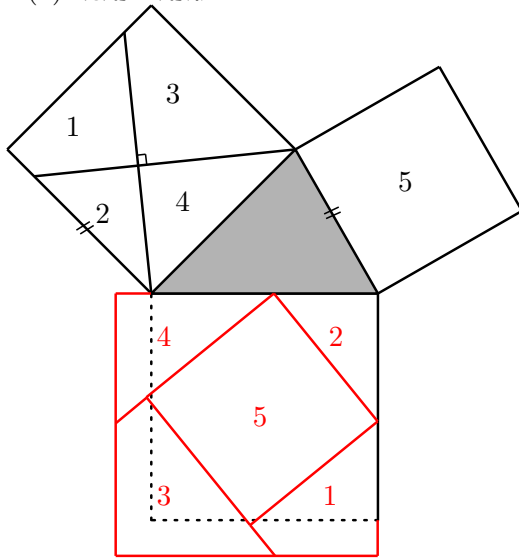
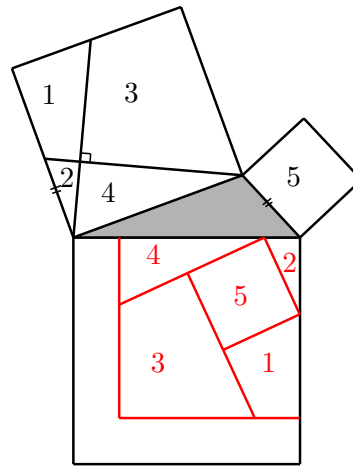


### 3.7.3 正方形埋め込みパズル II

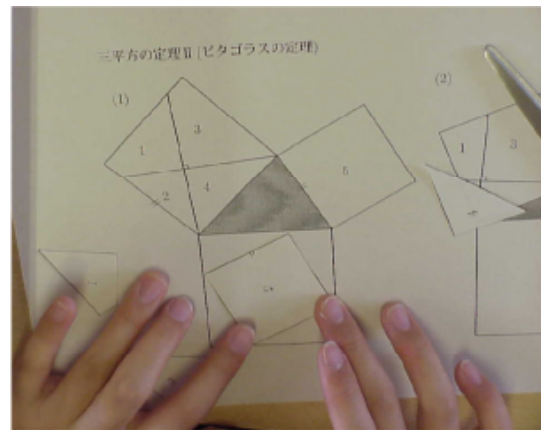
(1) 鋭角三角形



(2) 鈍角三角形



「今日は鋭角三角形と鈍角三角形で埋め込みパズルを考えていきます。」次頁のプリントを配布すると、「絶対ムリだよ〜」という声があちこちで聞こえるだろう。確かに鋭角三角形は一目最大辺の正方形よりも2つの正方形の面積の和は大きい。たった2つしかないが時間は前時の4つの時よりもかかるかもしれない。というのは生徒の感覚としてできこなし問題に挑戦しているという感じでパーツを動かしているからである。またできる正方形の大きさがわからないことも難易度を高くしている。時間がたつと同じ大きさの正方形ではないが、目的である正方形ができた生徒が出現するだろう。



完成すると鋭角三角形では  $P + Q > R$  ( $a^2 + b^2 > c^2$ ) となり、鈍角三角形では  $P + Q < R$  ( $a^2 + b^2 < c^2$ ) となることが一目で理解できる。そして直角三角形だけが  $a^2 + b^2 = c^2$  を成り立たせることができる三角形であることを知るのである。